

2 鳥取市のめざす子ども像実現のために求められる教員の姿

前期・後期に「1項目1点」として自分の姿を評価してみましょう。

		具体的な姿	前期	合計	後期	合計
魅力ある学級づくり 学習指導（授業力）	主体的・対話的で深い学び（授業づくり）	1 学習指導要領の趣旨・内容を理解して、年間指導計画を作成する。		/4		/4
		2 学年や教科の系統性を踏まえて年間指導計画の工夫・改善を図る。				
		3 学習指導要領と児童生徒の実態を踏まえながら教材研究をし、学習指導案を作成する。				
		4 児童生徒の実態を理解しながら、地域の特色を生かした単元構想や教材開発に取り組み、校内のカリキュラム・マネジメントを行う。				
		5 学ぶことの楽しさを感じられる「魅力ある授業づくり」を行う。		/8		/8
		6 「学習内容の定着を図る取組」を徹底している。				
		7 前時の振り返りから児童生徒と共に具体的なめあてづくりをし、学習意欲を高める。				
		8 学習の見通しを持ち、子ども同士の協働・教職員や地域の人との対話・先達の考え方を手掛かりにして、自己の考えを広げ、深める授業を実践する。				
		9 板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身につけ、集中力を保った授業を行う。				
		10 児童生徒がタブレットを活用した授業を日常的に行う。				
		11 主体的・対話的で深い学びを実現するために、校内での授業実践の推進を担う。				
		12 授業公開を積極的に行ったり、効果的な指導助言を行ったりして他の教職員の授業力向上の支援を行う。				
つながり 児童生徒理解・仲間づくり	児童生徒理解・仲間づくり	13 児童生徒の実態把握（日常の観察、面談、諸検査等）に努め、一人一人のニーズに応じた指導・支援をする。		/5		/5
		14 児童生徒が他者（友達・地域の方・教師等）との関わりをとおして自己有用感が高まるように努めている。				
		15 児童生徒のよさを認め、安心・安全に過ごせる温かい学級づくりに取り組むことができる。				
		16 児童生徒の実態に応じ、よりよい人間関係づくりや集団づくりに必要な取組を率先して提案している。				
		17 集団での自発的・自治的な活動を大切に、自治力のある集団づくりを推進している。		/3		/3
		18 不登校等の児童生徒一人一人の要因や背景を把握し、報告・連絡・相談をしながら対応する。				
		19 不登校等の児童生徒一人一人の要因や背景を把握し、適した支援を早い段階で行う。				
		20 不登校等の児童生徒一人一人の要因や背景を把握し、チーム学校として組織的な体制づくりに努める。				
		21 教職員や保護者と連携しながら、児童生徒の実態に基づいた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、合理的配慮を重視した指導・支援を行うことができる。				
		22 チーム学校として校内支援体制を構築し、関係機関との連携を図りながら組織的な対応ができる。				
23 児童生徒が夢や目標に向かって学校生活をおくることができるように、キャリア教育の視点で体制づくりをしている。		/1		/1		
魅力ある学校づくり 連携・OJT	学校運営・教職員連携	24 安心・安全な環境を整備し、自校の教育課題に対して報告・連絡・相談しながら対応する。		/4		/4
		25 危機管理マニュアルを把握し、未然防止や早期発見・早期対応に努める。				
		26 危機を予測して未然防止策を提案したり、危機発生に対して冷静・迅速に対応したりする。				
		27 教育公務員として教職員全体でコンプライアンス遵守の自覚をもって行動できる。				
		28 保護者・地域・幼保小中・関係機関等と連携・協働しながら対応する。		/2		/2
		29 保護者・地域・幼保小中・関係機関等と連携・協働したネットワークを構築する。				
		30 先輩教職員のアドバイスを謙虚に聞いたり、悩みを相談したりして同僚と協力しながら円滑に職務を遂行する。		/3		/3
		31 研修会で得た内容を自校の教育に活かすために、積極的に情報提供し、全教職員に提案して働きかける。				
		32 学校力アップのために現状を的確に把握し、改善策を提案しながら学校運営に参画する。				
					/32	

育成期 第1ステージ
（1年～5年）
17ポイント以上

向上期 第2ステージ
（6年～10年）
25ポイント以上

充実期前期 第3ステージ
（11年～15年）
30ポイント以上

充実期後期 第3ステージ
（16年目以降）
32ポイント